

みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

能ヶ谷西緑地だより

2025年7月1日号 233 号 能ヶ谷西緑地・樹の会

【7月の予定】

◆7月12日（土）（雨天翌日）

・サクラ広場草刈り

7月26日（土）（雨天翌日）

・中央広場草刈り・納会

* 9:00 現地集合（9:00～11:30）

◆7月5日（土）（10:00～12:00）

・ヤママユ連・手作りカフェー

平和台集会所

問合せ：伊藤（735-8623）

どなたでも参加自由です。

作業には汚れても良い服装でおいでください。

※※※※※※

緑地だより

※※※※※※

6月14日（土） 晴 参加者11名

梅雨の晴れ間で、暑さが増してきたが、今日は少し汗をかく程度。作業は草刈り。場所は梅広場から小田急住宅下の斜面、通称緑地の百合ヶ丘。2台の草刈機と鎌による手刈りに分かれて進める。長く伸びたクズのつるは草刈り機の刃に絡むのであるべく根こそぎ鎌で刈る。特にユリのまわりはだいじに。あとは機械におまかせ。ユリはこれから沢山のつぼみをつけ、大輪の花を咲かせてくれる。

作業をいつもより少し早めに終わらせ、この樹の会の成り立ちを、もとメンバーのKさんとSさんにお聞きする。お二人を含めた方々が、自然林を残したいという熱く強い思いで活動が続け、樹の会は26年前に設立された。あとでまとめて記録として残したい。私は参加して約10年ですが、関わってきた活動の流れをきちんと知ることができてとても良かった。

（宮崎）do

ハエドクソウ、地味ですがよく見るとかわい！



【緑地に咲く】ノアザミ（野薊）



緑地の花広場に、細い茎ですくっと立つ姿は楚々として見えるが、羽状に裂けた葉の先端それぞれに、鋭い棘を持っている。一本摘んで、家に飾っておいたら、そのうち赤紫色の花が綿毛になってふわふわと飛び始めた。あとで分類を見て納得。

「キク科」「アザミ属」「タンポポ亜科」だそう
（上野）

6月28日（土） 晴 参加者9名

小田急住宅下の草刈り。ドクダミや、前回とったクズのつるも巨大化していたので、バリバリ刈った。

カマキリや、小さな生まれたての緑色のきれいな1センチ以下の虫が、ピョンピョンはねていた。

暑かったので皆バテ気味で早目に作業を終え自家製のクラッカーと緑地産の杏ジャムでお茶にした。11月に行われるまちカフェの実行委員会に参加したFさんから、その報告があり、まちカフェに向けての会の活動については、次回に話し合うこととなった。

（上野）



オオカマキリの幼虫でしょうか

鶴 2 小四年生の授業に参加しました
6月27日（金）

5月に樹の会会員が4年生に説明した西緑地のことを聞いて、子どもが考えた質問に答えるという授業が6月27日、鶴川二小であった。市公園緑地課から2名、樹の会から4名が参加。まず西緑地がどうしてできたかということ市から説明し、その後樹の会会員は2名ずつに分かれ、別々の組で話した。質問は西緑地の危険な場所や小学校のビオトープとの違いなどだった。

私達は子ども達が木、草、鳥や虫などに触れてその良さを感じて欲しいと思っているが学校は地域とのつながりを望んで、子ども達がそこで活動している人たちから聞き、理解することから地域の団体（今年度は樹の会）の役にたつことを考えるという授業にしたいと思っているようだった。

2学期にも同様な授業があるそうなので、これを意識して緑地の魅力を伝えるようにしたい。

最後にSさんが、「能ヶ谷地域で昔大規模開発があった時に、大きな反対運動が起りました。残念ながらその緑地は開発されて無くなってしまったのですが、その代わりに市が西緑地の場所を買い取って、自然を守ろうとした住民の意志に答えようとしてできたのが、現在の西緑地です」と話しました。

（宇野）



セスジツユムシ

【やまゆ連・手作りカフェー】

カラムシの繊維とり

6月7日（土） 10：00～12：00
平和台集会所

毎年この時期には、育ってきたカラムシの繊維とりをします。

カラムシは今では雑草として気にとめる人もいませんが、その強い繊維は縄文の時代から衣服として、釣り糸として、ロープとして大いに使われてきました。戦争中町田でもカラムシを学校に持って行って供出したという話も聞きました。ロープにでも使ったのでしょうか。

そんな昔に思いを馳せながら、茎の皮を剥ぎ、表面をこそげ落としていきました。これで、何を作りましょう？

仲間のFさんは最近裂き織りを始めたとか、古い着物を裂いて作ったすてきな作品を見せてくださいました。

カフェ・メニュー：

ホウレンソウのキッシュ、わらび餅

（小川）



Fさんの裂き織り作品



カラムシの茎から繊維をとっています